

布にポンドをつけて
ボタンをつつでとめるだけ
すぐにできちゃう
くるみボタン



クロバーの布補修ポンド
ソーメニュー くるみボタンなら
簡単につくれます！

準備するもの

○くるみボタン 1 個に必要な分量の布地

【フラットタイプのくるみボタン】

11mm のボタン…布地 直径 23mm

15mm のボタン…布地 直径 31mm

18mm のボタン…布地 直径 38mm

22mm のボタン…布地 直径 42mm

28mm のボタン…布地 直径 48mm

【ふんわりタイプのくるみボタン】

◇キルト綿は厚さ 3mm 程度のもの

18mm のボタン…布地 直径 44mm

キルト綿 直径 18mm

22mm のボタン…布地 直径 48mm

キルト綿 直径 22mm

28mm のボタン…布地 直径 54mm

キルト綿 直径 28mm

○布補修ポンド

あれは便利なもの

○目打（または細目打）

※つまようじでも代用できます

作る前にご確認ください

○使用する布地にポンドが浸み出さないか、
共布でお試ください（浸み出しのない
布地をご使用ください）

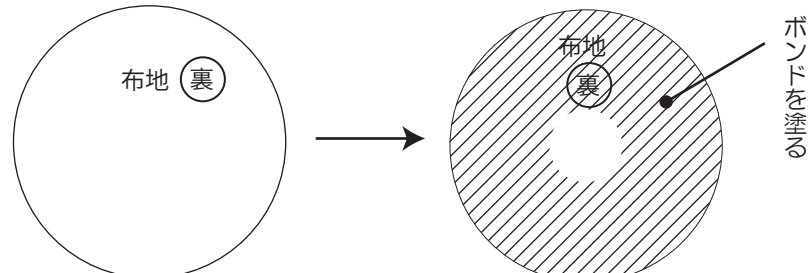
作る時の注意

○布地にポンドを塗る時は下敷きとして白い紙
を敷いて塗ってください

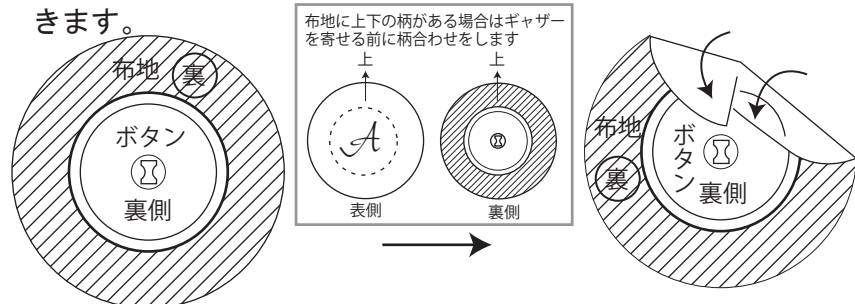
○目打についたポンドは、使用後に布やティッ
シュペーパーできれいに拭き取ってください

【フラットタイプのくるみボタン】

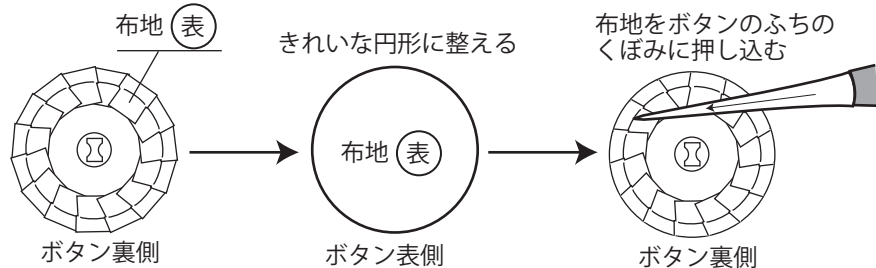
- ① ボタンのサイズに合わせて、必要な分量の布地をカットします。
布地を裏向けにし、中心部分を少し空けてポンドを薄く均等に
塗ります。（斜線部分がポンドを塗る部分です。ポンドを塗
る時は紙を敷いてください）



- ② ボタンの本体を裏向けにして、ポンドをつけた布地の中心に置
きます。まわりから布地にギャザーを寄せてボタンを包んでい
きます。

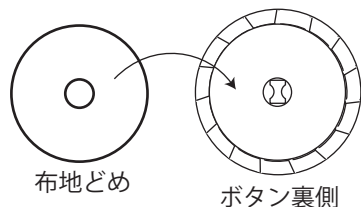


- ③ ボタンに均等にギャザーを寄せるようにして包みます。包み終
えたらいったん表向けにして、角が出ないように布地を少し伸
ばしながら整えて、きれいな円形にします。ボタンの裏側から
目打でボタンのふちのくぼみに布地を押し込んでいきます。



- ④ 布地どめをボタン裏側から
はめて、できあがりです。

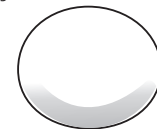
※15mm以上のボタンの布地どめは、指で押すだ
けで取り付けられます。11mm ボタンの場合は
布地どめをはめてから付属のパイプでまっ直ぐに
押し込んでください。それでもあまりににくい時は
木づちか金づちで軽くパイプを叩いてください。



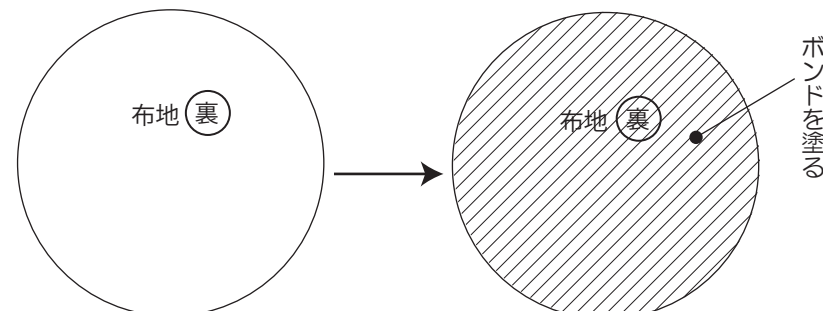
【ふんわりタイプのくるみボタン】

キルト綿を入れると、ふんわり丸い形のボタン
になります。18mm 以上がお勧めです。
布地はフラットタイプよりも一回り大きめ
（※「準備するもの」参照）にカットします。

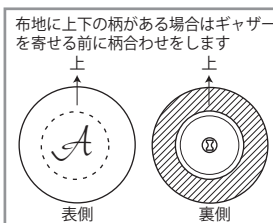
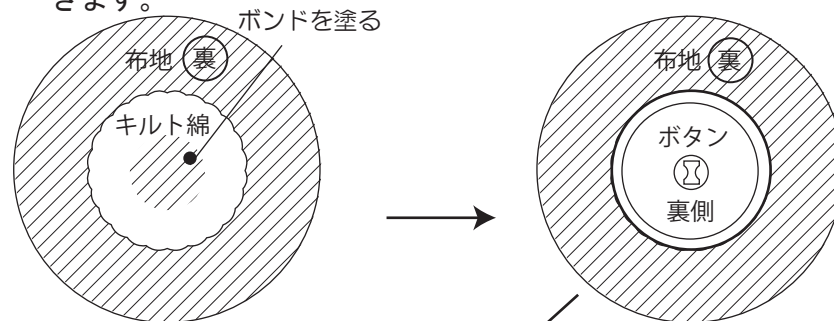
ふんわりしたボタンに！



- ① ボタンのサイズに合わせて、必要な分量の布地とキルト綿を
カットします。布地を裏向けにして、ポンドを全面に薄く均
等に塗ります。（斜線部分がポンドを塗る部分です。ポンド
を塗る時は紙を敷いてください）



- ② キルト綿をポンドを塗った布地の中心に置いて、キルト綿の
中央に少しポンドを塗ります。キルト綿の上にボタンの本体
を裏向けに置き、布地にギャザーを寄せてボタンを包んでい
きます。



この後の作り方は
【フラットタイプのくるみ
ボタン】の③④と同じです

☆ポンドが乾くまで
半日～1 日ほど
かかります